



平和の使徒推進本部 社会司牧担当からの

お知らせ 2021年7月

特別寄稿 平成30年7月豪雨災害から3年

倉敷教会 岡野敏郎(真備町居住)

倉敷市真備町地区は、平成30年7月豪雨災害で最深 5mの泥水に覆われ3年が過ぎました。被災直後から現在まで、広島教区の皆様をはじめ多くの方々から沢山のご支援をいただきありがとうございます。今の真備町は、被災者のうち 9 割の方が真備町で生活を再建しています。反面、仮住まいの方が未だ600人以上おられ、復興途上にあります。さて、教会の活動の面から3年を振り返ると、まず、被災信者のため、神父様をはじめ倉敷市内の玉島・水島・倉敷の3教会で組織した災害サポートセンターが支援活動を実施しました。ただし、集まった支援物資は、信者だけではなく被災地域の人たちに広く配布しました。また、被災後、市内外の仮設住宅に住み離れ離れになった地域の方々の繋がりを取り戻すため、一定の期間定期的な炊き出しの応援を、玉島教会は服部地区で。倉敷教会は箭田地区で実施しました。水島教会の応援を受けながら。

教会の活動は、被災信者に留まらず、真備町の多くの方のため大いに助けになったと思います。

最後に、私自身被災した時期のことは、未だに脳裏を過ります。たぶん被災した方は、忘れられない悲しい記憶をいくつも持っていると思います。

被災した方が、心身共に日常を取り戻せますよう願っております。



現在の吉備真備駅橋梁にあるオレンジラインは、ハザードマップの最高水位。この近くまで水は来た。





2021年7月6日追悼の日の前日、
豪雨災害の碑の前に静かに置かれていた花束



被災し再開した障がい者施設の外壁に表示された、当時の浸水の深さ



*今回7月の大雨で被災された方は、災害サポートセンター原田神父までご連絡ください。

*各地災害支援ボランティア活動については、「全社協 被災地支援・災害ボランティア情報」<https://www.saigaivc.com/>をご覧ください。

★子どもと女性の人権擁護デスクより

教会内でのハラスメント相談受付

月曜日・金曜日 9:30～12:00 13:00～17:00

電話番号 080-9795-3676



発行

平和の使徒推進本部 社会司牧担当

木曜日 9時～17時 電話:082-221-6613 FAX:082-221-6019

Email: socialdesk.hiroshima@gmail.com

ホームページ <https://www.social-desk.net/>